

大阪市立

# 成育小学校



郵便番号	536-0007
所在地	城東区成育1丁目5-19
電話番号	(06) 6932-0061
FAX	(06) 6932-6360
校長名	上玉利 恭子



**【学校の概要】** 校区は11町会(成育1~5丁目、関目1丁目の一部、中央2丁目)で構成されている。近年他地域からの選択制入学も多く、令和3年度は児童数749名、29クラス(うち特別支援学級は7クラス)である。

**【教育目標等】** 校訓・育てたい子ども像「考える子 協力する子 強い子」

学校教育目標 「正しく判断し、自他のよさを認めあい、最後までやりぬく子どもを育てる」

**【沿革等】** 昭和24年に櫻並小学校南分校として落成し、翌年成育小学校と改称された。校名を決めるにあたり3つの候補が挙げられ、その中から保護者が選んだ学校名が「成育」であった。昨年度、創立70周年を迎えた。

## 運営に関する計画 〈中期目標〉

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

- 令和3年度末のいじめ件数および不登校児童の数を平成28年度末より増やさない。
- 令和3年度末の児童や保護者、教職員によるアンケートにおいて「場に応じた挨拶ができる」「しっかりと返事ができる」の項目をそれぞれ85%以上にする。
- 令和3年度末の安全に対する意識調査で、地域防災や避難訓練、身の安全を守るための意識を高め、全員が状況に応じて判断できるようにする。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和4年度の全国学力・学習状況調査の正答率20%以下の割合を平成28年度より増やさない。
- 令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、平成28年度調査より運動好きの割合を増やし、運動能力面では全国平均より劣っている項目について全国平均との差を平成28年度より縮める。
- 令和3年度末には、食べる力をはぐくむため「食事マナー」「感謝の心」「残さず食べる」ことを重点に残食量を平成28年度より減らす。

## 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

### 【令和元年度調査結果の概要】

平均正答率 (%)

	国語	算数
本校	62	69

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

### 【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

#### 【国語】

「話す・聞く」領域については全国平均をかなり上回っている。これは対話的な学びにつながる「傾聴力」の育成に重点をかけて指導してきている積み上げであると考え、「書く」ことについても、国語科での学習に限らず、自分の意見や考えを文章に書き表す指導を続けてきたことで、徐々に成果が表れてきている。

#### 【算数】

算数科の4つの領域のうち、「数と計算」「図形」「数量関係」の3つの領域で、全国平均を大きく上回っている。「数と計算」の領域では、計算の仕方を考える際に既習事項を基にきまりを見つけるよう問いかけたり、他の数値でも成り立つのか問いかけたりするなど、統合的・発展的に考えられるよう指導している。また、「図形」領域では、面積を求める場面で、図形と式を関連付けて考察することに重点を置いて指導してきたことが成果として表れている。他の領域でも、基礎的事項の理解が顕著に表れており、反復練習に重点を置いて継続指導してきた結果であると考えられる。

## 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

### 【令和元年度調査結果の概要】

種目別平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	15.3	20.1	29.7	37.1	42.6	9.4	150.0	21.4	50.9
女子	15.1	20.4	33.7	37.3	35.8	9.7	147.1	13.8	53.0

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

### 【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

昨年度は、「長座体前屈の平均の記録を前年度より3ポイント上昇させる。」を年度目標に掲げて取り組んできた。新型コロナウイルス感染症の影響で、十分な運動量が確保しにくい中、子どもの柔軟性を高める取組について、日々の体育科学習における準備運動を工夫するなど、継続して実施した。体力向上については、全校での取組はできなかったが、日々の体育科学習において各学級、各学年で密を避けるよう工夫をしながら持久走やなわとびなどの体力向上につながる運動を継続して実施した。その結果、長距離を自分に合ったペースで走り続けたり、目標回数に達するまでなわとびを跳び続けたりできる体力が育ってきている。今後も児童が意欲的に取り組めるような工夫をし、記録の向上につなげていきたい。

学校のアピールポイント等

「わかった」の音が響く学校 すべての子どもが、考える楽しさ、わかる喜び、満足感を味わえる学習指導に取り組んでいます。



目の前の新しい課題に対して、自分が今まで身につけてきた知識や技能を活用し、自ら壁を乗り越え、解決していくという問題解決型の学習方法を進めています。

**学校教育活動で具体的な観察・体験を大切にします。**

抽象的な概念をそのまま受け入れるのではなく、自ら観察し体験することで初めて実感をもって理解できるようになります。また、その繰り返しの中で、物事の本質をつかむ力も養われます。

**自ら挑戦する経験を大切にします。**

自分の得意なことですら高い目標を定めて達成したり、逆に得意でないことにも積極的に取り組み、少しずつでもできるようになったりする経験を大切にします。例えば、その子どもにとって得意で楽しい活動で得た自信をそれ以外の活動に広げていくことが大切です。その積み重ねが、どんなに難しいことでも、自分にはやり遂げることができるという自信と強い気力を生み出します。

**言葉の力を養います。**

読書に親しむことや、自分の考えを他の人が理解できるように言葉で表現する学習等を通じて、あらゆる思考の基礎となる読む力と書く力、さらに他の人との協働を可能にする聴く力と話す力を養います。

【学校HPより】



↑成育小子ども見まもりレモン隊の方々が、登下校の時間に合わせて、児童の見守りをさせていただきます。

↓運動会の様子。全員が力いっぱい取り組んでいます。



↑修学旅行など、校外活動でいろいろな体験をします。



↑平成30年度、講堂が新しく竣工されました。ぴかぴかの講堂の中で、子どもたちはいきいきと運動をしています。また、運動場の遊具も設置されました。

学校案内図（14ページも併せてご覧ください）

